

各位

MediciNova, Inc.  
代表取締役社長兼 CEO  
岩城 裕一  
コード番号： 4875 大証 JASDAQ  
問合わせ先： 東京事務所代表 副社長  
岡島 正恒  
電話番号： 03-3519-5010  
E-mail： [info@medicinova.com](mailto:info@medicinova.com)

## イブジラスト (MN-166/AV411)のコロラド大学 (ボルダー) との 新規適応症 (外傷性脳損傷治療) における協働のお知らせ

2012年1月16日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一) は、外傷性脳損傷後の治療にイブジラスト (M-166/AV411) を使用することについて、ボルダーにあるコロラド大学との間でインライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。コロラド大学の神経科学及び心理学教授であるダニエル・バース博士の研究によると、イブジラストは、外傷性脳損傷に起因してよく見られる障害のひとつである不安神経症に、顕著な効果が認められています。

バース博士とその同僚であるクリスタ・ロジャーがラットにおいて治療後3ヶ月間の測定を行ったところ、脳震とう後1ヶ月にわたりイブジラストを全身投与することによって、外傷性脳損傷後の不安神経症を防ぐことができることを発見しました。この発見は、人における外傷後の不安神経症が神経性炎症を生理的根拠とする可能性がきわめて高いため、イブジラストのように、脳の炎症反応を軽減もしくは防止する効果を持つ医薬品の使用により、進行中の神経障害を治療できる可能性を示唆しています。

外傷性脳損傷は、米国だけで毎年約170万人の患者が存在する、主要な公衆衛生上の問題です。外傷性脳損傷が長期にわたると、精神神経疾患の様相を呈することもあり、そのうち不安神経症が最も一般的です。不安神経症を含むPTSDの神経メカニズムはほとんど知られておらず、薬物的な治療法も限られています。バース博士たちは、外傷性脳損傷後の一部の疾患に、脳のグリア細胞の無秩序な活性化が関わっているのではないかと仮定しています。イブジラストは、グリア細胞の活性を緩和する周知の作用を有するマクロファージ遊走阻止因

子 (MIF) 及びホスホジアステラーゼの選択的阻害剤です。当社は、イブジラストについて、さまざまな神経疾患の治療を適応とする開発を行っています。

### 【イブジラストとは】

イブジラストは、日本で、喘息及び脳梗塞発作後の症状の治療薬としてすでに 20 年以上使用されており、さらに当社が行った多発性硬化症及び神経因性疼痛を適応とする臨床試験では、より高い用量が投与され、良好な結果が出ています。薬物依存研究の専門家による、コロンビア大学とニューヨーク州精神医学研究所との共同研究及び UCLA の臨床試験などの治験計画が、NIDA からの支援につながり、それぞれオピオイド離脱及びメタンフェタミン依存を適応とする前臨床及び臨床試験が行われています。また、オーストラリアでは、薬剤誘因性の慢性頭痛を適応とする、治験医師主導の臨床試験が行われています。イブジラストに関して当社の優先事項は、進行型多発性硬化症及び神経因性疼痛のフェーズ 2 臨床試験を実施することにあります。

### メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症を始めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166/AV411 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166/AV411 については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧ください。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または

目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDAに対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を始めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。